

設定マニュアル

エネルギーモニタ(7型・制御対応)

品番 VBPM 372C

- 施工時に必要な設定です。必ず施工店様で設定を行ってください。
- 施工前に「安全上のご注意」(参照)取扱説明書6～7ページ)を必ずお読みください。



付属品

- 専用ACアダプター 1コ
- 卓上ベース 1コ
- 取付金具(壁かけ用) 1コ
- 取付用なべタッピンネジ(4×20)(壁かけ用) 2本
- 取扱説明書 1冊
- かんたんガイド 1枚
- 保証書 1枚
- 設定マニュアル(本冊子) 1冊

- 正しくお使いいただくために、必ずお読みください。
- 設定後、必ず施主様にお渡しください。

基本施工編

1 周波数チャンネルを確認する	3
2 LANケーブルを接続する	4
3 ACアダプターを接続する	5
4 時刻を設定する	6～7
5 電力検出ユニットを登録する	8～9
6 電波到達を確認する	10～11
7 買取方式を設定する	12～13
8 出力制御を設定する	14
9 設置する	15～16
10 動作確認をする	17～19

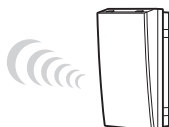
こんなときには

デモモードについて	21
出荷時設定に戻す	22～23
設定データをバックアップする	24～25
バックアップデータをリストアする	26～28
SDメモリーカードでファームウェアを更新する	29～30

エネルギーモニタに電力検出ユニットを登録してください。



電力検出ユニット



- 電力検出ユニットが設置されている場所を確認してください。
- 電力検出ユニットがご自宅の電力買取方式に対応しているかどうかをご確認の上、登録してください。

1 周波数チャンネルを確認する

エネルギーモニタの周波数チャンネルと電力検出ユニットの周波数チャンネルを合わせる必要があります。

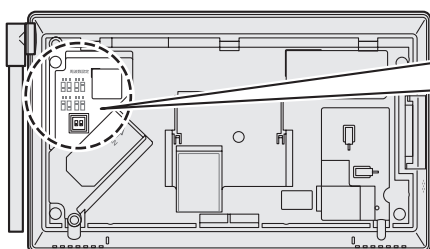
工場出荷時は両方とも「CH.1」に設定されていますので、通常は変更不要です。
チャンネルが異なっていれば合わせてください。

- 電力検出ユニットの周波数チャンネルの確認方法は、電力検出ユニットの説明書を参照してください。
- 電波ノイズを受けている場合は電波が受信できません。その場合は周波数設定スイッチを変更してください。変更した際にも必ずエネルギーモニタと電力検出ユニットのチャンネルを合わせてください。

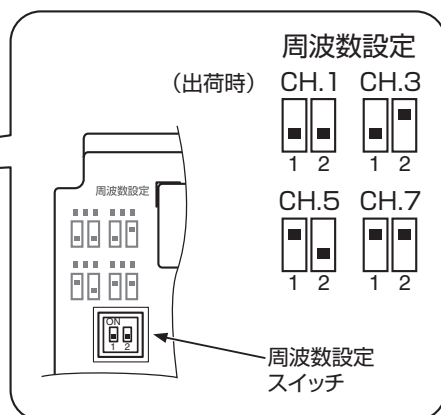


- 電力検出ユニットをエネルギーモニタに登録した後、周波数チャンネルを変更しても、登録し直す必要はありません。
- 待機状態(画面に何も表示されていない状態)で操作してください。画面に映像が映し出されている状態では設定変更されない場合があります。

エネルギーモニタ

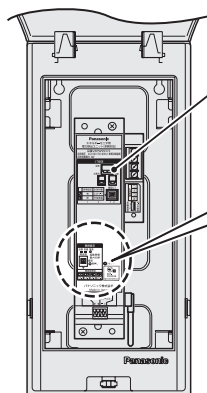


裏面

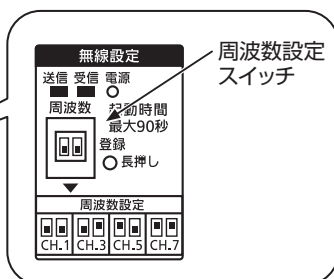


電力検出ユニット

右図は余剰買取方式に対応した電力検出ユニット



電力検出ユニット



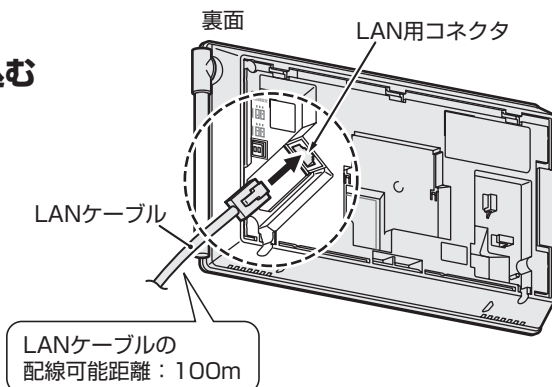
2 LANケーブルを接続する

エネルギーモニタをインターネット回線に接続すると、ファームウェアを確認・更新したり、出力制御のスケジュールを更新する(出力制御(参照)14ページ)を設定している場合)ことなどができます。



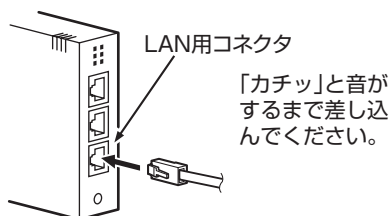
- LANケーブルは別売です。必要な長さのケーブルをご用意ください。
ストレート/クロスどちらのタイプのケーブルでも使用できます。
また、ラッチカバーなしのLANケーブルをご使用ください。
(ラッチカバー付を使用し挿入ににくい場合には、
ラッチカバーをはずしてご使用ください。)
- 「アクセスポイント」を使って無線LANに接続する場合は、取扱説明書87～99ページを参照してください。

1 LAN用コネクタに LANケーブルを差し込む

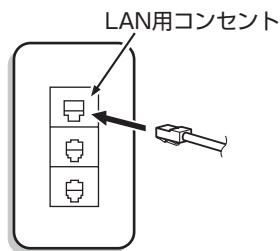


2 LANケーブルを接続する

ルーターのLAN用コネクタに
差し込む



LAN用コンセントに差し込む



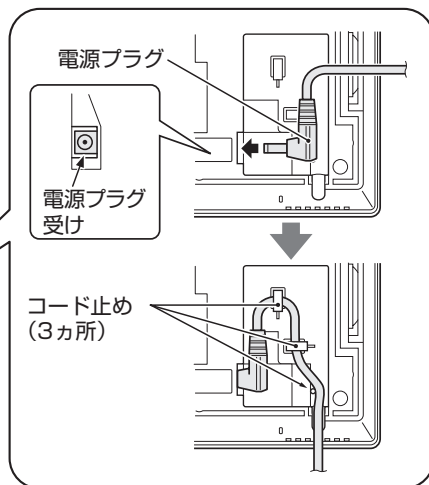
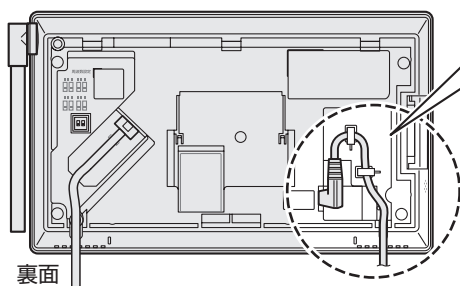
3 ACアダプターを接続する

付属のACアダプターをエネルギーモニタとコンセントに接続してください。



登録を行うため(参照)8～9ページ)、電力検出ユニットに近い場所で接続してください。

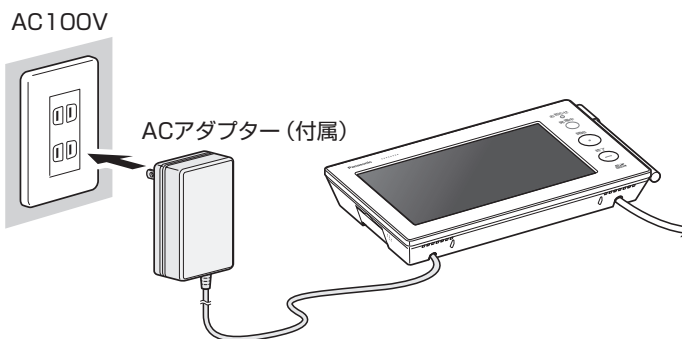
1 コード止めで固定して 電源プラグを差し込む



基本施工編

こんなときには

2 ACアダプターを コンセントに差し込む



⚠ 注意



必ず守る

付属のACアダプターを使用する
守らないと火災や焼損、故障の原因となります。

4 時刻を設定する

まず、現在の時刻を設定します。



- ACアダプターを接続し、約20秒間経過してから、操作してください。20秒以内に開始ボタンを押すと、「ピピピッ」とエラー音が鳴ります。

- 時刻を設定しないと正しいデータを取得できません。必ず設定してください。
- 時刻未設定時はお知らせランプが赤色点滅します。
- 出力制御(参照>14ページ)が「有効」に設定されていて発電所IDが登録されており、インターネット回線に接続されている場合は、自動的に時刻設定されます。

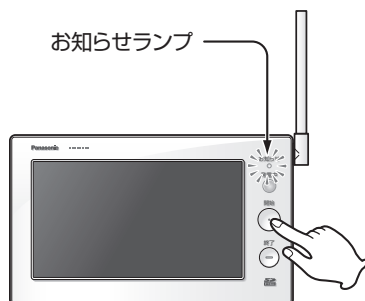
1 開始ボタンを押す

➡ 時刻未設定画面が表示されます。



時刻未設定画面が表示されるのは、初めて通電した場合、あるいは1週間以上通電されていなかったなどで設定が失われた場合です。それ以外で時刻設定する場合については、取扱説明書の23～26ページを参照してください。

お知らせランプ



2 確認 をタッチする

➡ 時刻入力画面が表示されます。



3 設定する入力ボックス(年/月/日/時/分)をタッチして、数値を入力する

- 表示されるソフトウェアキーボードについて 参照>次ページ



(年を設定する場合)

4

設定が終われば

決定 をタッチする

➡電力検出ユニット未登録画面が表示されます。(参照▶8ページ)



ソフトウェアキーボードによる数値入力について

●エネルギーモニタの設定数値を入力する場合は、下のようなソフトウェアキーボードが表示されますので、**0**～**9** ボタンをタッチして数値を入力し、**完了** をタッチして確定してください。

◆**クリア** をタッチすると、直前に入力した数値が消去されます。

◆**中止** をタッチすると、ソフトウェアキーボードが消去されます。



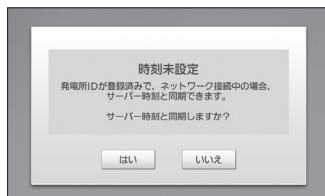
×モ

- 時刻が正しく設定されていない場合や誤って時刻を変更した場合は、電気使用量などが正確に記録されない場合があります。
- 設定できる範囲は2012年1月1日0時00分～2037年12月31日23時59分です。
- 誤った数値を設定しようとした場合、メッセージが表示されます。

了解 をタッチすると設定画面に戻りますので、設定をやり直してください。

- 出力制御(参照▶14ページ)が「有効」に設定されていて発電所IDが登録されている場合、時刻が未設定のときは手順②で右画面が表示されます。

インターネット回線に接続されている場合は**はい** をタッチしてください。接続されていない場合は**いいえ** をタッチしてサービスマンコード(参照▶14ページ)を入力して時刻設定を行ってください。(参照▶発電所ID設定マニュアル)



5 電力検出ユニットを登録する

時刻を設定した後、エネルギーモニタに電力検出ユニットを登録します。

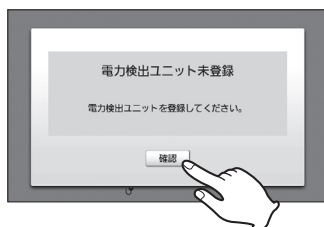


- 登録操作を行わないとデータが取得できません。
- エネルギーモニタに登録できる電力検出ユニットは、1台のみです。また、電力買取方式（参照▶12～13ページ）に対応した電力検出ユニットを登録してください。
- エネルギーモニタは、なるべく電力検出ユニットに近い場所で操作してください。
- 電力検出ユニット未登録時はお知らせランプが赤色点滅します。

1 電力検出ユニット未登録画面で

確認 をタッチする

▶登録開始確認画面が表示されます。



2 はい をタッチする

▶「電力検出ユニットの登録操作を行ってください。」が表示されます。

- **中止** をタッチすると、登録を中止し、施工設定画面（参照▶11ページ）が表示されます。
- 登録開始確認画面で **いいえ** をタッチすると、施工設定画面に戻ります。



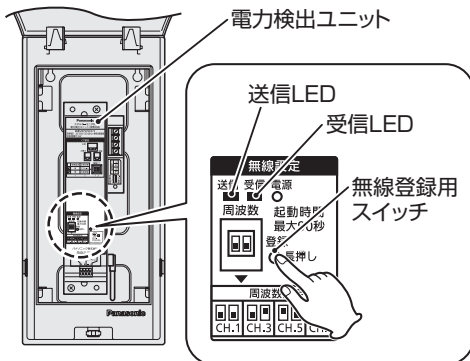
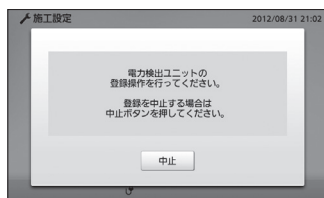
3 電力検出ユニットの無線登録用スイッチを送信LEDと受信LEDが赤色点滅するまで長押し（約2秒間）する

▶登録されると送信LEDと受信LEDが約5秒間赤色点灯します。

- 登録に失敗すると、消灯します。その場合は再度操作してください。



手順②で **はい** をタッチしてから約10分を経過すると登録モードが終了します。10分以内に操作してください。



4 「電力検出ユニット 登録しました。」が表示されれば **完了** をタッチする

➡ 施工設定画面が表示されます。



■ 「登録に失敗しました。」が表示された場合

- ➡ **了解** をタッチすると施工設定画面が表示されます。
電力検出ユニット登録 をタッチして再度操作を行ってください。

■ それでも失敗する場合は以下を確認し、再度登録操作を行ってください。

- ➡ エネルギーモニタのアンテナをたたんだ状態にいませんか？
 - 垂直に立ててください。
- ➡ エネルギーモニタと電力検出ユニットが離れすぎていませんか？
 - なるべく近づけてください。
- ➡ 機器間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がありませんか？
 - 障壁を避けてください。
- ➡ 電子レンジやパソコンなどの家庭用電気製品やOA機器が近くにありませんか？
 - 遠ざけてください。
- ➡ 近くで携帯電話やPHS電話などを使用していませんか？
 - 使用をやめてください。
- ➡ 上記の処置を行っても失敗する場合は、エネルギーモニタと電力検出ユニットの周波数チャンネルを変更してください。(参照▶3ページ)

5 操作が終われば **終了ボタン**を押す

- ➡ 「設定を更新しています。しばらくお待ちください。」が表示された後、待機状態(画面に何も表示されていない状態)になります。



6 電波到達を確認する

実際に使用する場所で、電力検出ユニットの電波がエネルギーモニタに届いているかを確認します。

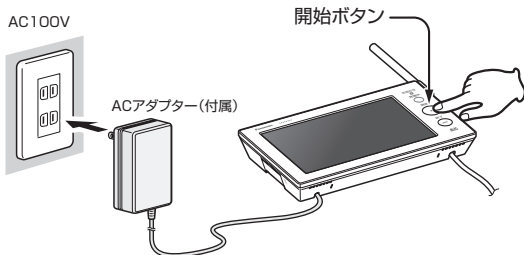


- 使用する場所については、取扱説明書のご注意(参照)取扱説明書8～13ページ)をご確認ください。
- エネルギーモニタの使用場所を変更した場合は、その都度、電波到達確認を行ってください。

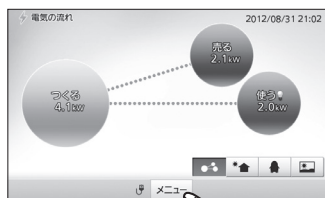
1 エネルギーモニタを使用場所に置く



ACアダプターをいったん抜いた場合は、使用場所ですみやかにコンセントに差し込んでください。ACアダプターを抜くと、直前の最大1時間の計測データが失われます。1週間以上抜いたままにしていると、時刻設定が失われる場合があります。



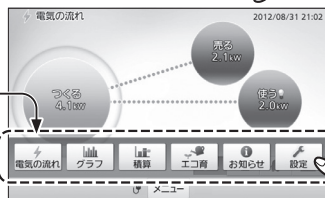
2 開始ボタンを押す



3 メニューをタッチする

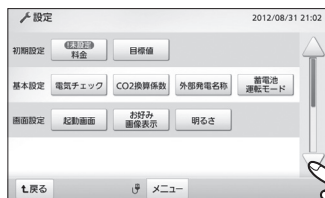
→メニューバーが表示されます。

メニューバー



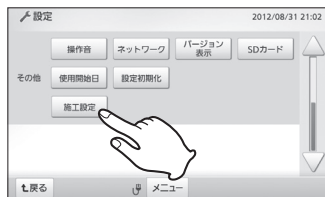
4 設定をタッチする

→設定画面が表示されます。



5 施工設定をタッチする

→設定画面(2ページ目)が表示されます。



6 施工設定確認画面が表示されます。

→施工設定確認画面が表示されます。

7 はい をタッチする

➡ 施工設定画面が表示されます。

- 「いいえ」をタッチすると、設定画面に戻ります。



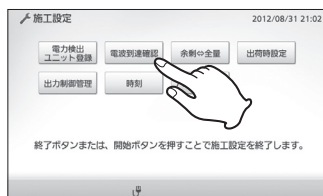
注 「はい」をタッチしてから約20分を経過すると施工設定が終了します。20分以内に操作してください。



8 電波到達確認 をタッチする

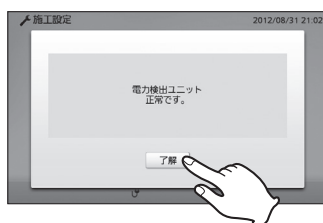
➡ 「電力検出ユニット 電波確認中です。」が表示され、電波到達確認が始まります。

- 「中止」をタッチすると電波到達確認を中止します。



9 「電力検出ユニット 正常です。」が表示されれば 了解 をタッチする

➡ 施工設定画面に戻ります。



■ 「電力検出ユニットと通信できません。」が表示された場合

- エネルギーモニタと電力検出ユニットの電波到達範囲は障害物のない場所での水平見通し距離で約100mです。(使用環境によっては距離が短くなる場合があります。)また、家庭用電気製品やOA機器(パソコンなど)の電波ノイズの影響を受けると電波が受信できない場合があります。
- ➡ 「了解」をタッチすると施工設定画面が表示されます。
- ➡ エネルギーモニタの位置を変更する、あるいはアンテナの角度を変えて、再度電波到達確認を行ってください。
- ➡ 上記の処置を行っても表示されない場合は、エネルギーモニタと電力検出ユニットの周波数チャンネルを変更してください。(参照)3ページ)

10 操作が終われば終了ボタンを押す

➡ 「設定を終了します。しばらくお待ちください。」が表示された後、待機状態(画面に何も表示されていない状態)になります。

7 買取方式を設定する

電力買取方式を「全量買取方式」としてご使用される場合は、以下の操作を行ってください。

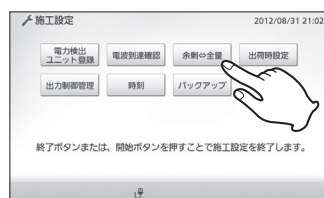


- 工場出荷時は、「余剰買取モード(余剰買取方式)」に設定されています。余剰買取モードでお使いの場合は、設定の必要はありません。
- 下記の手順は、「余剰買取モード⇒全量買取モード」に変更する場合の画面です。「全量買取モード⇒余剰買取モード」に変更する場合も操作は同じです。
- 蓄電池ユニット、外部発電機器やエコキュート接続している場合は、全量買取モードを選択しないでください。

1 施工設定画面で **余剰⇄全量** をタッチする

➡ 買取モードの変更画面が表示されます。

- 施工設定画面を表示させるには
参照▶10～11ページ



2 **はい** をタッチする

➡ 電力検出ユニットの登録確認画面が表示されます。

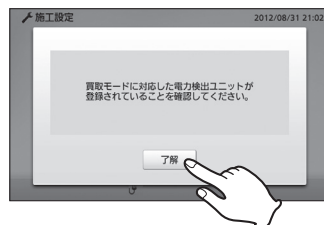
- 電力検出ユニットが登録されていない場合は、手順③の画面は表示されません。
- **いいえ** をタッチすると、施工設定画面に戻ります。



(余剰買取モード⇒全量買取モード)
に設定する場合

3 **了解** をタッチする

➡ 初期化確認画面が表示されます。



4

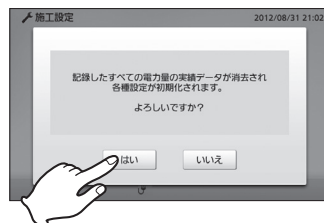
はい をタッチする

➡「消去中です。」が表示され、初期化が行われます。

- 「いいえ」をタッチすると、施工設定画面に戻ります。



注 電力検出ユニットの登録、時刻設定、使用開始日設定、および出力制御管理設定は消去されません。上記以外の設定項目(参照)取扱説明書74～75ページと保存されている履歴データが消去されます。

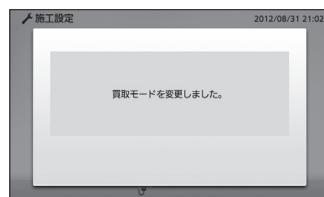


5

「買取モードを変更しました。」が表示される

➡しばらくすると、施工設定画面に戻ります。

- 買取モード設定操作が完了しました。
- 「買取モードの変更に失敗しました。再度、モードの変更を行ってください。」が表示された場合は、再度操作してください。



6

設定が終われば 終了ボタンを押す

➡「設定を更新しています。しばらくお待ちください。」が表示された後、待機状態(画面に何も表示されていない状態)になります。



- 全量買取モードに設定した場合、使えない機能のボタンはグレー表示となり、タッチしても動作しません。
- 電力買取方式について詳しくは、ご契約の電力会社などにお問い合わせください。
余剰買取方式：発電した電力から使用した電力を差し引いた余りの電力を売電する方式
全量買取方式：発電した電力を住宅内で使用せずすべての電力を売電する方式

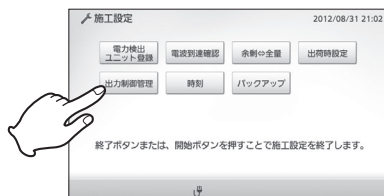
8 出力制御を設定する

電力会社と出力制御のご契約をされている場合は、施工店による出力制御管理設定を行ってください。

1 施工設定画面で「出力制御管理」をタッチする

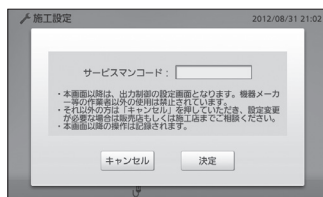
➡ 認証画面が表示されます。

- 施工設定画面を表示させるには
参照▶ 10～11ページ



2 入力ボックスをタッチして、サービスマンコードを入力する

- 表示されるソフトウェアキーボードについて 参照▶ 取扱説明書99ページの
下画面



出力制御管理設定には認証のためのサービスマンコードが必要です。
お客様による設定はできませんので
施工店に連絡してください。
施工店でサービスマンコードが不明な
場合は当社にお問い合わせください。

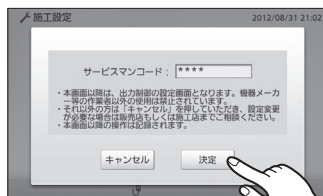
3 「決定」をタッチする

➡ 出力制御管理設定画面が表示されます。

- コードが認証できない場合、あるいは「キャンセル」をタッチすると「出力制御管理設定は、許可なく変更することはできません。販売店もしくは施工店に連絡してください。」が表示されます。

「了解」をタッチすると施工設定画面に戻ります。

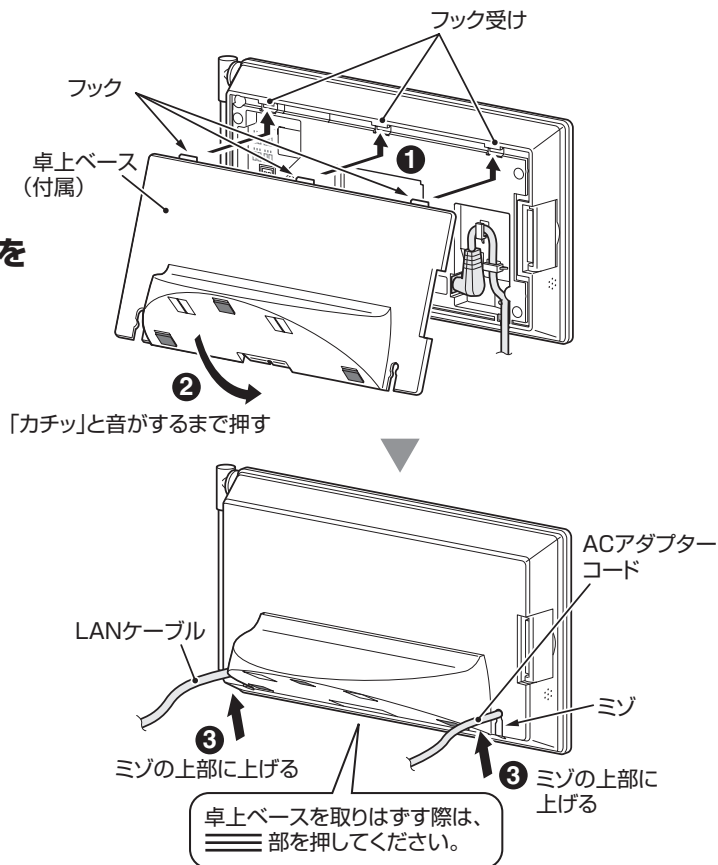
- 出力制御管理設定の操作については別冊の「発電所ID設定マニュアル」を参照してください。



9 設置する

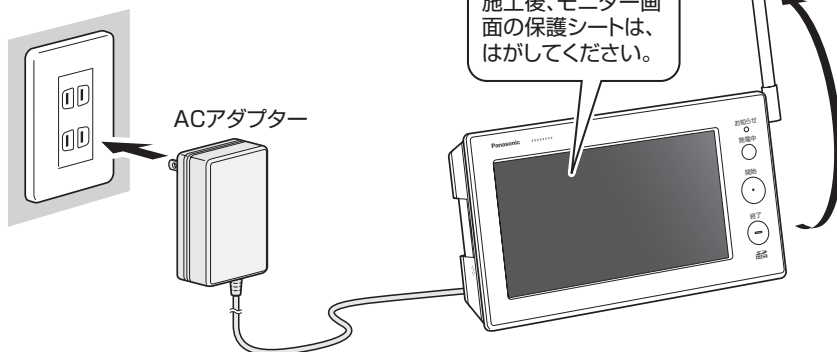
卓上で 使う場合

1 卓上ベースを 取り付ける



2 アンテナを起こす

AC100V



壁に かける場合

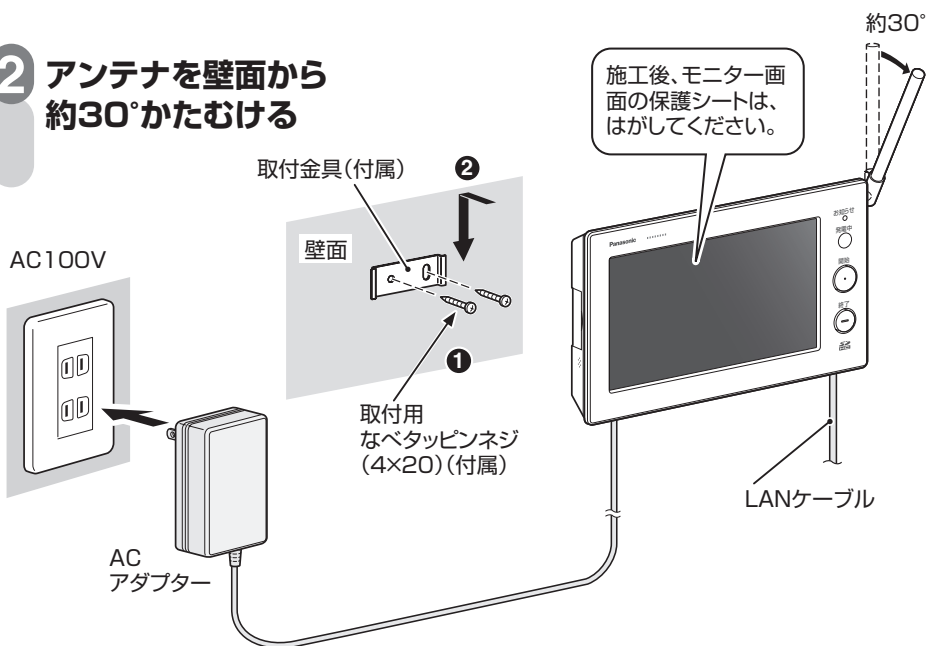
固定する前に必ず電波到達確認(参照▶10～11ページ)を行ってください。



- アンテナを伸ばすため、エネルギーモニタ上部から12cm以内に障害物がない場所に取り付けてください。
- SDメモリーカードの出し入れのために、エネルギーモニタ左側から20cm以内に障害物がない場所に取り付けてください。
- 床面から取付金具までの距離(高さ)は約145cmをおすすめします。
- 石こうボードへの取り付けは脱落を防止するため、柱などで補強された場所に取り付けてください。
- ネジを強く締め付け過ぎないようにしてください。締め付けすぎると取付金具が変形するおそれがあります。

1 取付金具を使用場所に ネジ止めし、エネルギー モニタを取り付ける

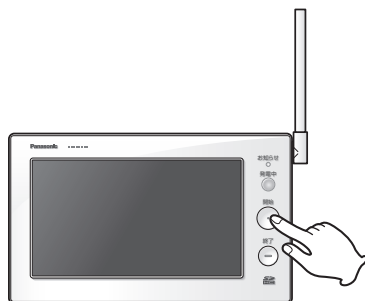
2 アンテナを壁面から 約30°かたむける



10 動作確認をする

1 開始ボタンを押す

➡ 起動画面が表示されます。




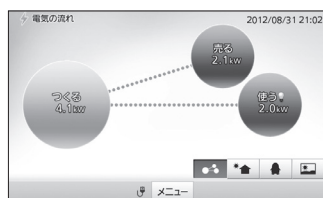
基本
施工
編

2 電気の使用状況に応じて、 電気の流れ(バブル)画面に バブル(円)が表示され、 数値が表示されれば 正常な動作です

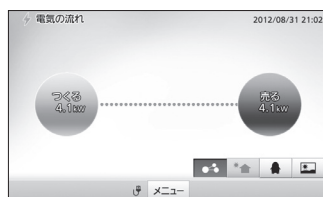
(起動画面(参照➡取扱説明書82ページ)
が電気の流れ(バブル)画面の場合)

- 蓄電池が接続されていない場合は「貯める」は表示されません。
- 全量買取モード(参照➡12～13ページ)に設定されている場合、「つくる」と「売る」のバブル(円)しか表示されません。

( はグレー表示になります。)



(余剰買取モードの場合)



(全量買取モードの場合)

■ つくる/使う/買う/売る/貯めるのバブル(円)内の数値が正しく表示されない場合

- 配線などの不具合が考えられます。電力検出ユニットの説明書を確認してください。
- 電力買取方式(余剰買取/全量買取)に応じて、接続する電力検出ユニットが異なります。ご自宅の電力買取方式に対応した電力検出ユニットが接続されているか確認してください。

こんなときには

次ページへ続く➡

〈エコキュートを接続している場合〉

- エコキュート接続時は、**メニュー**をタッチ➡ **積算**をタッチして表示される積算画面で、使用状況に応じて「湯」の数値が表示されれば正常に湯量が計測できています。(使用していなければ0.0kLと表示されます。)ただし、エコキュートの電源が入っている必要があります。



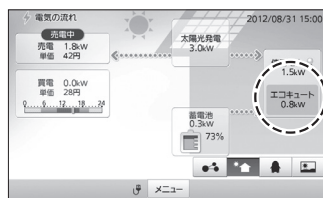
(積算画面)

■ 積算画面に「湯」が表示されない場合

エコキュートの電源(ブレーカー)が入っていない、あるいは配線などに不具合がある可能性があります。エコキュートの操作パネルに異常が表示されている場合はエコキュートの説明書、操作パネルが通常の表示である場合は、電力検出ユニットの説明書を確認してください。

〈エコキュートの電力量を計測している場合〉

- エコキュートの電力計測時は、**電気の流れ**をタッチして表示される電気の流れ(シンプル)画面で、使用状況に応じて「エコキュート」の数値が表示されれば、正常にエコキュートの電力量が計測できています。(使用していなければ0.0kWと表示されます。)




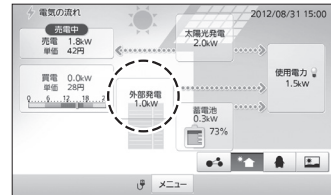
■ 電気の流れ(シンプル)画面に「エコキュート」が表示されない場合

電力検出ユニットで正しく設定が行われていない、あるいは配線などに不具合がある可能性があります。電力検出ユニットの説明書を確認してください。

※外部発電機器接続時は、エコキュートの電力量は表示されません。

〈外部発電機器を接続している場合〉


- 外部発電機器接続時は、 をタッチして表示される電気の流れ(シンプル)画面で、使用状況に応じて「外部発電」の数値が表示されれば、正常に外部発電機器接続時の動作ができています。(発電していなければ0.0kWと表示されます。)

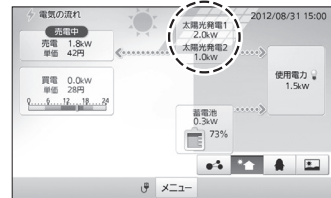


■ 電気の流れ(シンプル)画面に「外部発電」が表示されない場合

配線などの不具合が考えられます。電力検出ユニットの説明書を確認してください。
※エコキュートの電力計測時は、外部発電が表示されません。

〈パワーコンディショナ(太陽光発電2)を接続している場合〉


- パワーコンディショナ(太陽光発電2)接続時は、 をタッチして表示される電気の流れ(シンプル)画面で、使用状況に応じて「太陽光発電2」の数値が表示されれば、正常にパワーコンディショナ(太陽光発電2)接続時の動作ができています。(発電していなければ0.0kWと表示されます。)

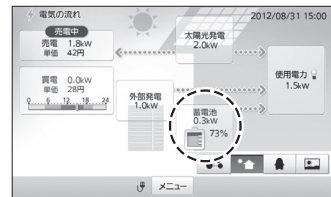


■ 電気の流れ(シンプル)画面に「太陽光発電2」が表示されない場合

- 配線などの不具合が考えられます。電力検出ユニットの説明書を確認してください。
- ほかの外部発電名称が表示されている場合は、外部発電名称設定(参照>取扱説明書80ページ)で「太陽光発電2」が選択されているか確認してください。

〈蓄電池を接続している場合〉

- 蓄電池接続時は、 をタッチして表示される電気の流れ(シンプル)画面で、使用状況に応じて「蓄電池」の数値が表示されれば、正常に蓄電池接続時の動作ができています。(充電または放電していなければ0.0kWと表示されます。)



■ 電気の流れ(シンプル)画面に「蓄電池」が表示されない場合

配線などの不具合が考えられます。電力検出ユニットの説明書を確認してください。

これで必要な設定・登録は完了しました。取扱説明書にしたがって使用してください。

こんなときには



こ ん な と き に は

必要なときにお読みください。

デモモードに設定したり出荷時設定に戻す場合、
あるいは設定データをSDメモリーカードに
バックアップ/リストアする場合の操作です。

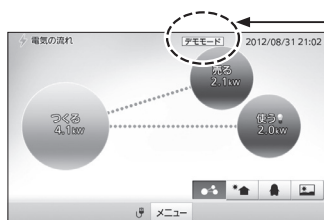
デモモードについて

店頭で商品を説明する際などに、本製品をデモモードに設定することができます。



- デモモードに設定できるのは、電力検出ユニットを登録していない場合のみです。
- この操作はご家庭では行わないでください。
- デモモードに設定した場合、ACアダプターを抜いてもデモモードは解除されません。解除するには必ず以下の操作を行い、手順②で「切」に設定してください。
- デモモードで表示されるのは余剰買取モード(参照▶12～13ページ)の画面です。全量買取モードあるいは出力制御(参照▶14ページ)を設定している場合は、デモモードは設定できません。
- デモモード中は、何も操作せずに約60分間経過すると、待機状態(画面に何も表示されていない状態)になります。

デモモード中の画面

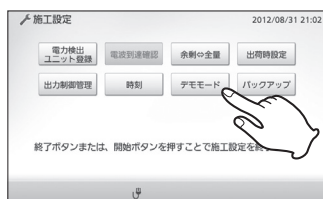


「デモモード」と表示されます。

(電気の流れ(バブル)画面の場合)

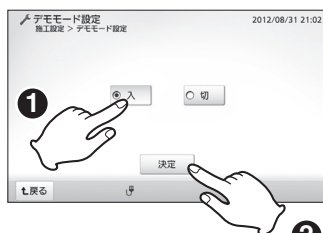
1 施工設定画面で「デモモード」をタッチする

- 施工設定画面を表示させるには参照▶10～11ページ



2 「入」を選んで「決定」をタッチする

- ➡ 本製品がデモモードとなり、施工設定画面に戻ります。
- デモモードを解除する場合は「切」を選んで「決定」をタッチしてください。「デモモードを抜けたので再起動します。」が表示されて再起動が行われた後、デモモードが解除されます。



3 操作が終われば終了ボタンを押す

- ➡ 「設定を更新しています。しばらくお待ちください。」が表示された後、待機状態(画面に何も表示されていない状態)になります。

出荷時設定に戻す

エネルギーモニタの各設定内容を工場出荷時の設定に初期化して戻すことができます。

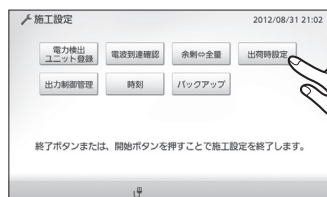


- 本体内部に保存されている履歴データがすべて失われますのでご注意ください。
- 「電波到達確認」「出力制御管理設定」以外の施工設定項目、取扱説明書74～75ページに記載されている設定項目のすべてが初期化されます。ただし、電力検出ユニットの登録消去は選択できます。
- 買取モードは「余剰買取モード」に戻ります。
- 出力制御(参照>14ページ)を設定している場合、時刻設定と一部の履歴データは初期化されません。

1 施工設定画面で [出荷時設定] をタッチする

➡ 電力検出ユニットの消去画面が表示されます。

- 施工設定画面を表示させるには参照>10～11ページ



2 [はい] または [いいえ] をタッチする

➡ 初期化確認画面が表示されます。

- [はい] をタッチすると、電力検出ユニットの登録も消去されます。
- [いいえ] をタッチすると、電力検出ユニットの登録は消去されません。



出力制御(参照>14ページ)が「有効」に設定されている場合は、電力検出ユニットの登録を消去すると発電が停止されますので、[いいえ]を選んでください。



3 [はい] をタッチする

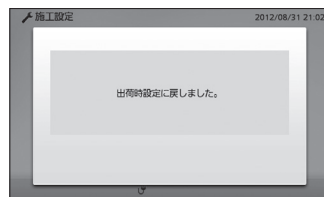
➡ 「消去中です。」が表示され、初期化が行われます。

- [いいえ] をタッチすると、施工設定画面に戻ります。



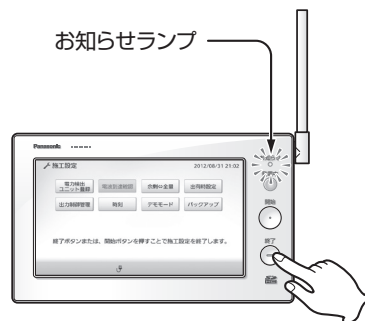
4 「出荷時設定に戻しました。」が表示される

- ➡しばらくすると、施工設定画面に戻ります。
- 出荷時設定操作が完了すると、お知らせランプが赤色点滅します。
- 「消去に失敗しました。」が表示された場合は、再度操作してください。



5 操作が終われば終了ボタンを押す

- ➡「設定を更新しています。しばらくお待ちください。」が表示された後、待機状態（画面に何も表示されていない状態）になります。



（手順②で **はい** を選んで電力検出ユニット登録を消した場合

設定データをバックアップする

エネルギーモニタの設定内容をSDメモリーカードにバックアップ(保存)することができます。

- バックアップされる設定項目については次ページを参照してください。



データを破損するおそれがありますので、バックアップ操作中は電源を切ったりSDメモリーカードを抜いたりしないでください。

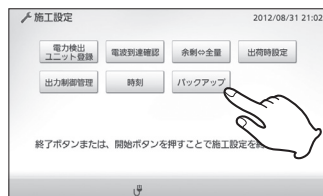
1 画面が消えている状態で、バックアップデータを保存するためのSDメモリーカードを挿入する

(参照) 取扱説明書40ページ)

2 施工設定画面で **バックアップ** をタッチする

➡ 確認画面が表示されます。

- 施工設定画面を表示させるには
参照) 10～11ページ



3 はい をタッチする

➡ 「データ保存中 電源を切ったりSDカードを抜くなど本体操作をしないでください。」が表示され、バックアップが始まります。

- **いいえ** をタッチすると、施工設定画面に戻ります。



4 右画面が表示されれば

了解 をタッチする

➡ 施工設定画面に戻ります。

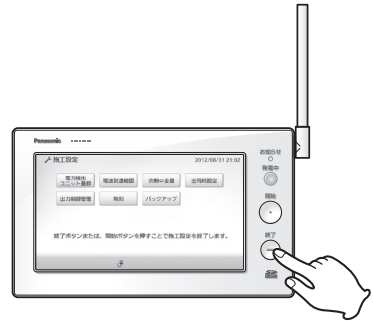


注 バックアップに失敗した場合は、「設定データの保存に失敗しました。」が表示されます。エラーコードを確認して「了解」をタッチし、27ページの「SDメモリーカード操作に関するエラーコード一覧表」にしたがって処置してください。処置後、手順①から操作し直してください。



5 操作が終われば 終了ボタンを押す

➡ 「設定を終了しています。しばらくお待ちください。」が表示された後、待機状態（画面に何も表示されていない状態）になります。



■ バックアップされる設定項目

項目名	参照ページ
料金(電気)	取扱説明書 27
料金(売電)	取扱説明書 34
目標値(電気)	取扱説明書 35
目標値(湯)	取扱説明書 38
電気チェック	取扱説明書 76
CO2換算係数	取扱説明書 78
外部発電名称	取扱説明書 80
蓄電池運転モード	取扱説明書 81
起動画面	取扱説明書 82
好み画像表示※	取扱説明書 83

項目名	参照ページ
明るさ	取扱説明書 85
操作音	取扱説明書 86
ネットワーク	取扱説明書 87
履歴データ	取扱説明書 104
使用開始日(太陽光発電・蓄電池)	取扱説明書 108
出力制御カレンダー	取扱説明書 110
デモモード	本冊子 21
余剰 ⇄ 全量	本冊子 12
出力制御管理	本冊子 14

※：SDメモリーカードから読み込んだ画像データもバックアップされます。

バックアップデータをリストアする

SDメモリーカードにバックアップ(保存)した内容で、エネルギーモニタの設定内容をリストア(復旧)することができます。



- リストア操作ができるのは、バックアップ(参照▶24ページ)データが保存されているSDメモリーカードが挿入されている場合のみです。
- データを破損するおそれがありますので、リストア操作中は電源を切ったりSDメモリーカードを抜いたりしないでください。

1

画面が消えている状態で、
バックアップデータが保存
されたSDメモリーカードを
挿入する

(参照▶取扱説明書40ページ)

2

施工設定画面で **リストア** を
タッチする

→ 確認画面が表示されます。

- 施工設定画面を表示させるには
参照▶10～11ページ



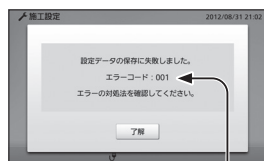
バックアップデータが保存されている
SDメモリーカードが挿入されてい
ない場合は **リストア** は表示されません。



×モ

- バックアップ、リストア時にSDメモリーカード操作に関するエラーが発生した場合、右のようなエラー画面が表示されます。エラーコード番号を確認し、27ページの表にしたがって処置を行ってください。

エラー表示画面(例)



エラーコード

3

はい をタッチする

➡「データ復旧中 電源を切ったりSDカードを抜くなど本体操作をしないでください。」が表示され、リストアが始まります。

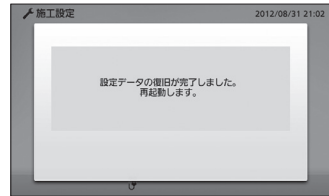
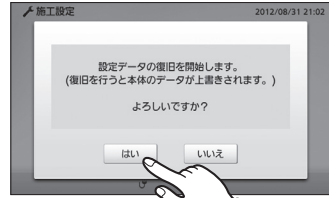
- いいえ をタッチすると、施工設定画面に戻ります。

- リストアが完了すると、右の画面が表示されます。

- 右の画面が約5秒間表示された後、再起動します。



注 再起動中は操作できません。約20秒間経過してから操作してください。20秒以内に開始ボタンを押すと、「ピピピッ」とエラー音が鳴ります。



SDメモリーカード操作に関するエラーコード一覧表

エラーコード		処 置 内 容
バックアップ時	リストア時	
001	101	SDメモリーカードが挿入されていません。SDメモリーカードを挿入してください。挿入されている場合は、SDメモリーカードの種類や挿入の向きを確認してください。
002	102	SDメモリーカードにロックがかかっています。SDメモリーカード側面の書き込み禁止スイッチがLOCK側になっていないか、確認してください。
003	—	SDメモリーカード内の書き換え対象ファイルが読み取り専用になっています。書き換えできる状態にするか、SDメモリーカードを初期化してください。
004	104	何らかの要因により、SDメモリーカードに出力できません。SDメモリーカードの種類や挿入の向きが間違っていないかなどを確認してください。SDメモリーカードの容量不足の場合は、不要なデータをパソコンに移動して容量を確保してください。
—	105	何らかの要因により、SDメモリーカードから読み出しができません。SDメモリーカードを初期化して、再度バックアップ操作からやり直してください。
—	106	何らかの要因により、リストアができません。施工店に連絡してください。
—	107	バックアップフォルダが最大数(30個)を超えています。不要なバックアップフォルダを削除するか、別のSDメモリーカードを使用してバックアップ操作からやり直してください。
—	108	バックアップデータが壊れています。バックアップ操作からやり直すか、施工店に連絡してください。

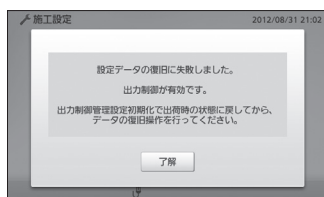
出力制御に対応していないエネルギーモニタを 出力制御対応用のエネルギーモニタに機器交換する場合

- 現在使用しているエネルギーモニタの設定データをバックアップ(保存)してから、そのデータを新しいエネルギーモニタにリストア(復旧)し、その後、出力制御を設定してください。

- ① 出力制御に対応していないエネルギーモニタの設定データをバックアップする
(参照>24～25ページ)
- ② 出力制御対応用のエネルギーモニタでリストアする(参照>26～27ページ)
- ③ 出力制御を設定する(参照>14ページ)



- 出力制御は「無効」に設定されている状態(出荷時設定のまま)で、リストアを行ってください。「有効」に設定されているとリストア時に右のエラー画面が表示され、リストアできません。
- 機器交換をせずに、出力制御に対応していないエネルギーモニタのファームウェアを更新して出力制御に対応させる場合は、バックアップ・リストアの操作は不要です。



SDメモリーカードでファームウェアを更新する

SDメモリーカードを使ってファームウェアの更新を行うことができます。



- SDメモリーカードによるファームウェア更新ができるのは、ファームウェア更新データが保存されているSDメモリーカードが挿入されている場合のみです。
- 最新のファームウェア更新データは、当社ホームページからパソコンにダウンロードしてください。動作環境やダウンロード方法などについては、必ずホームページでご確認ください。
http://sumai.panasonic.jp/solar/firmware_update/
- ダウンロードしたファームウェア更新データは、SDメモリーカードの一番上の階層に保存してください。フォルダを作って保存したり、ファイル名称や属性の変更などは行わないでください。
- データを破損するおそれがありますので、ファームウェア更新操作中は電源を切ったりSDメモリーカードを抜いたりしないでください。
- ファームウェア更新完了後は、必ずSDメモリーカードに保存したファームウェア更新データを削除してください。

1

画面が消えている状態で、ファームウェア更新データが保存されたSDメモリーカードを挿入する

(参照) 取扱説明書40ページ)

2

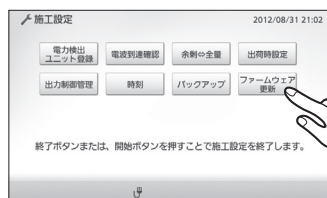
施工設定画面で **ファームウェア更新** をタッチする

➡ 確認画面が表示されます。

- 施工設定画面を表示させるには
参照) 10～11ページ



ファームウェア更新データが保存されているSDメモリーカードが挿入されていない場合は **ファームウェア更新** は表示されません。



SD メモリーカードでファームウェアを更新する

3

はい をタッチする

➡ファームウェア更新が始まります。

- いいえ をタッチすると、施工設定画面に戻ります。
- 更新には約10分かかります。



- 右画面が表示された後、「アップデートの準備が完了しました。アップデートを開始します。」➡「アップデート中です。電源を切らないでください。」と画面が切り替わります。
- アップデートが成功すると、「アップデートが成功しました。」が表示されます。



4

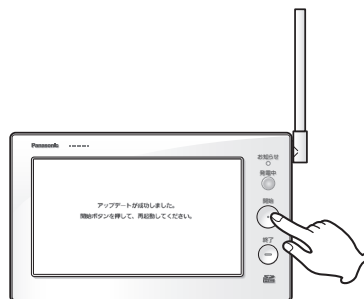
開始ボタンを押す

➡画面が消えて、再起動が行われます。

- 開始ボタンを押さなくても、「アップデートが成功しました。」画面は約3分後に消えて、自動的に再起動が行われます。



再起動中は操作できません。約20秒間経過してから操作してください。20秒以内に開始ボタンを押すと、「ピピピッ」とエラー音が鳴ります。





パナソニック株式会社 システム機器ビジネスユニット

〒514-8555 三重県津市藤方1668番地

電話 ☎ **0120-283338** FAX ☎ **0120-551626**

© Panasonic Corporation 2015-2017

8A3 P45 00002 M0615-10217Mj